



# フォレスターうじ 会報

第275号  
令和4年1月1日発行  
森林ボランティア  
フォレスターうじ

<https://forester.foresteruji.org>

あけましておめでとございます。

今年もよろしく願いいたします。



12/24 宇治市役所正面玄関  
門松の設置を終えて記念撮影

## 十二月定例活動

門松設置に向けた諸準備と

ミニ門松の制作体験会

活動日 十二月十九日(日) 晴  
活動時間 九時三十分～十五時  
活動場所 天ヶ瀬森林公園  
参加者 会員 十七名  
入会希望者 一名  
一日体験者 一家族四名

朝礼時、松川参与が滋賀県内での刈り払い機による死亡事故を紹介。当会では同道具を使用していないが、ノコ、オノ、カマ等の刃物類を常時使用するため、今一度基本動作を徹底するようにとの指導があった。

その後宇治市役所に設置する門松の作製に向けた作業をフォレスターうじ広場で実施。竹の加工、組み立て、松の採取に全員が取り組んだ。A班は土台部分の作製を担当。竹が肉厚であつ

たため、組み立てに苦勞した。B班はメインの竹の組み合わせと斜め切りを担当。節を利用した表情のある切断面が出来上がった。

午後は会員の希望者と京都新聞のまちかど欄の参加者募集記事を見て京田辺市から来られた田中さん一家四名(子供二名)も参加してミニ門松の作製を行なった。材料は久保井会員が準備した真竹、ミニ葉牡丹、南天に、京都大作戦の森で採取した松や苔を使用。久保井会員作製の見本を参考に各自の趣味・感性で様々な作品が作られた。

終礼時、一日体験の田中さんから「子供に体験させようと思ったが、自分が夢中になり時間を忘れて取り組んだ。」との感想があった。このミニ門松制作体験会は会員にも好評であったため、フォレスターうじをアピールする一環として来年度も実施するか否か検討願いたい。

(追記)京都大作戦の森の防鹿柵のポール一本が曲がっていたので小林、水野両会員が交換した。

## 十二月特別・臨時活動

門松の作製・設置に係る活動

### ①臨時活動

十二月十六日(木) 晴 参加者七名  
・生長の家宇治別格本山で竹を伐採  
・森林公園へ運搬し、土台作りの準備

### ②特別活動

十二月二十四日(金) 晴 参加者八名  
・門松資材を森林公園から搬出  
・宇治市役所正面玄関脇で組み立て準備  
・正面玄関の柱に設置  
寒い中、特別活動、臨時活動に参加された皆さん、お疲れ様でした。

※市役所からの撤去は一月七日に実施します。

(記 実行委員長 深田 一夫)

## 十一月特別活動

宇治環境フェスタで

活動日 十一月二十八日(日) 晴  
活動時間 九時～十四時半  
活動場所 宇治市生涯学習センター  
参加者 会員 五名  
来場者 二十九家族子供二十七名大人三十五名  
持帰り鉢三十四鉢 持込苗木鉢七鉢

下火になったとは言え前回と同様、コロナ禍の中の開催であったので、果たして何組の家族が来て頂けるのか不安であった。今回はコナラ・アベマキ・クヌギのどんぐりの他にツブラジイ・ツバキ・南天・山椒等々、花や実を楽しんで頂ける種も用意した。結果、来場者は右のとおりで、そのうち本会の活動日に一緒に植樹したいと言われたのは五家族。と、年々徐々にではあるが、増えてきている。

宇治環境フェスタのみならず色々な場所でも地道に取り組んで来たことが、少しずつ市民の皆様認知して貰えているということと捉え、今後もこの活動を広げて行きたいと思えます。

(記 ecoット宇治担当 新宮 邦春)



11/28 ドングリの実を鉢に蒔いている親子  
宇治環境フェスタ  
(写真 新宮邦春)

## 調査報告

「茎にトゲのある草」の名前は

栗津 國雄

会報十二月号、十一月定例活動報告の追記に「茎にトゲのある草」の名前を調べて後日報告すると記した。活動報告本文で新宮さんは「モミジイチゴ」と記されている。インターネットで調べたようだ。

私は図書館に行き、図鑑で調べることにした。以下「新牧野日本植物図鑑（発行所(株)北隆館、平成二十年十一月二十五日初版発行）」による。

まず新宮さん記述の「モミジイチゴ」を見ると、後に「〇〇イチゴ」が四十八種もあった。この中から「茎にトゲ」が顕著なるものを探してみた。「モミジイチゴ」「サナギイチゴ」「クマイイチゴ」「バライチゴ」「エビガライチゴ」「ゴヨウイチゴ」等々。

実物の記憶が不確かなので、結局どれかわからない。インターネットで調べた新宮さんの「モミジイチゴ」が有力か。

ちなみに「〇〇イチゴ」は分類上ではバラ科で「落葉低木」、「草」ではない。「サルトリイバラ」はユリ科で、これも「低木」である。



12/19 ミニ門松制作体験会  
時間を忘れて制作中  
12月定例活動

## エッセイ

落ち葉の行方―腐葉土

久保田 敏弘

昨年十一月の活動日、広場についてみると既に何人かの会員が忙しく落ち葉を掻き集めていた。見上げると桜の木は既にすっかり葉を落としていた。広場だけでもその量は相当なもので、せつせと一箇所にうず高く積み上げられていった。それを見て、ただ朽ち果てるのに任せておくのももったいないと感じ、思い付きではあったが腐葉土にしてはどうかと朝の挨拶の際その旨を提案してみた。結局、その日の活動の一つとして、私と加地会員がその任に当たることになった。ありあわせの丸太の杭と網で囲いを作り、その中に落ち葉を積んで一日がかりで何とか形になった。

腐葉土は落ち葉を発酵させて作られるもので、堆肥などと比べると栄養価は少ないが、微生物をはじめとする土壌生物のエサとなり、土をフカフカにして排水性や通気性、更に保温・保湿効果が期待できる。

自前の腐葉土ができれば、実生のドングリの苗のために使うことができ、家庭菜園などをしてる会員のためにもなる。更に、イベントなどで袋詰めにして販売してはどうか・・・と夢は膨らむ。

とはいえ、良質な腐葉土にするためには混ぜ替えなど手間を掛けなければならぬ。発酵の種になる米ぬかは山口会員にお願いし、深田会長と木曾事務局長の協力を得て後日それを投入した。

桜の葉は腐葉土にはあまり適さないとも言われている。更に、思い付きのため果たして腐葉土になるかどうか心もとない。しかし、何事にも関心を持ち、とにかくやってみようという気持ちを持つことを忘れられないようにしたいと思っている。

## 今後の活動・行事の案内

令和四年二月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、当月の「活動案内」でお知らせします。

二月定例活動

二月二十日(日) 天ヶ瀬森林公園

・天ヶ瀬森林公園の森林整備

・緑の募金によるヤマザクラ等の植樹

三月特別活動

三月六日(日) 太陽が丘

・どんぐりプロジェクトの植樹、棚卸し

## フォレスターうじからのお報せ

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化防止の森林保全活動を体験しませんか。新しい仲間を募集中、先ずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

ホームページはこちらから↑

森林ボランティア フォレスターうじ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三



## 編集後記

十二月の活動日に入会を希望する方が参加された。ホームページをご覧になったらしい。

この会報をお読みの皆様へ、天ヶ瀬森林公園と一緒に森林保全活動しましょう。楽しいことが待っています。

(会報担当 木曾 宗統)  
(写真担当 林 幸広)